※令和４年度以降入学生用

学校番号	203

令和５年度　芸術科

教科	芸術	科目	美術Ⅰ	単位数	２単位	年次	１年次
使用教科書	「美術１」（光村出版）						
副教材等	なし						

１　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・周囲と自分の関りや新たな気づきが表現につながることを留意しながら学習を進めます。
・形態や色彩の適切な捉え方や、材料や素材の扱い方、使用方法を学びながら自己の表現力の向上を目指す学習活動を行います。
・作品完成後は振り返りレポートや相互批評を行い作品に対する客観的な視点や相互理解を深める学習活動を行います。

２　学習の到達目標

・造形的な視点について理解を深めるとともに、意図に応じて表現方法を創意工夫し、創造的に表すことができる。
・造形的な良さや美しさ、表現の意図や創意工夫、美術の働きなどについて考え、新たな視点や気付きをもって創造的に発想・構想し、価値意識をもって美術文化に対する見方や感じ方を深めることができる。他者の作品を認め相互理解を図ることで、自作品の客観的視点を養うことができる。
・主体的に美術の創造活動に取り組み、生涯にわたり美術を愛好する心情を育むとともに、完成を高め、美術文化に親しみ、心豊かな生活や社会を創造していく態度を養う。

３　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	形や色彩、素材などの造形的特徴を捉えて主題に沿った表現が行えているかや、材料や用具の特性を活かして表現方法を工夫しているかを評価します。	造形的な見方、考え方を働かせて感じたことや考えたことを創造的に表現できているか、また、他者の作品の良さを理解し自身の作品への客観的視点が養われているかを評価します。	主体的に創造活動に取り組み、新たな気付きや視点を表現に組み入れながら活動に取り組めているかを評価します。
上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。			

※令和４年度以降入学生用

４　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
1学期	浮いた立方体を描く	【絵画】【鑑賞】 1、 主題の設定 与えられたモチーフについて形態について理解し、影のつけ方などイメージを明確にする。 2、 制作 鉛筆や消しゴム等の材料を活かしてグレースケールを作成し、表現方法を工夫し表す。 3、 鑑賞 お互いの完成作品を振り返りシートやスライドを使い相互批評しあう。	a:（知識） 立方体の形態や光と影の成り立ちといった特徴を把握できているか。 （技能） 意図に応じて材料や用具の特性を活かすとともに陰影のつけ方等表現方法を工夫して主題を追及できているか。 b:（発想や構想） 造形的な見方、考え方を働かせて感じ取ったことや考えたことを創造的に表現できているか。 c:振り返りシートをもとに主体性を持って活動や取り組みについて記入することができる。	ワークシート 作品 振り返りシート	作品 取り組み状況 振り返りシート	ワークシート 取り組み状況 振り返りシート
	四季・夏のイメージ	【デザイン】 ・色彩基礎 ・色彩構成 画用紙にアクリルガッシュで着色する。 ・夏のイメージに合うように明度・彩度・配色・構成等を工夫し表現する。	a:（知識・技能）四季のイメージを表現することに関心を持ち、形や色彩などの働きを考えながら構想を練ったり、表現したりしようとする。アクリルガッシュ絵の具の特性を生かし、表現方法を工夫して目的や計画をもとに表現している。 b:（発想や構想）条件や美しさなどから、形や色彩などの働きを考えて表現の構想を練っている。 （鑑賞）他の生徒の作品から見えてくる良さを感じ取り、表現への理解を深めることができているか。 ｃ：自身のイメージからアイデアスケッチや下描きから構想を練り表現に結び付けることができたか。鑑賞や振り返りシートで主体性を持って取り組むことができたか。	ワークシート 作品 振り返りシート	作品 取り組み状況 振り返りシート	ワークシート 取り組み状況 振り返りシート

※令和４年度以降入学生用

2学期	クレイアニメに挑戦	【映像メディア表現】【鑑賞】 1、 アニメーションについての理解 ・アニメーションの特性や作品について参考となる教材を通して理解を深める。 2、 主題の設定 ・粘土で作るアニメーションについて主題を考え構想を練る。 3、 制作 ・コマ撮りアニメの特性を生かして４色粘土を使用してiPad を使用し、一コマずつ撮影しアニメーション作品を作成する。 4、 鑑賞 お互いの完成作品を振り返りシートをもとに発表しあい、作者の心情や表現の工夫などについて共有する。	a:（知識・技能）アニメーションづくりを目的としアプリを使って表現することに関心を持ち、表現や鑑賞の活動に積極的に取り組む。 b:（発想や構想） 造形的な見方、考え方を働かせて感じとったことや考えたことを創造的に表現できているか。 （鑑賞） 他の生徒の作品から見えてくる良さを感じ取り、表現への理解を深めることができているか。 c:動きを表現する際に何度も試行錯誤し主体性をもって取り組むことができたか振り返りシートを使って確認する。	ワークシート 作品 振り返りシート	取り組み状況 作品 振り返りシート	ワークシート 取り組み状況 振り返りシート
	スクラッチ技法による人物を描こう	【絵画･彫刻】【鑑賞】 1、 対象の設定 ・対象とする人物を選び、その特性や顔の特徴をつかむ。 2、 構想を練る ・黒い画面からニードルで削ることで明るさを表現し、立体的に表現できることを理解する。 3、 ・完成のイメージをもとにスクラッチ技法で明暗を的確に表現できる。	a:（知識・技能） 多様な絵画表現に興味関心を持ち、対象について描き表現することができる。また、人物画をはじめ様々な表現方法について知ることができる。 意図に応じて材料や用具の特性を生かし、表現方法を工夫して、主題を追求して表現している。 b:（発想や構想） 写真をもとに人の表情等細かな部分まで観察することができる。 （鑑賞） 他の生徒の作品から見えてくる良さを感じ取り、表現への理解を深めることができているか。 c:主体性をもって取り組むことができたか振り返りシートを使って確認する。	ワークシート 作品 振り返りシート	作品 取り組み状況 振り返りシート	ワークシート 取り組み状況 振り返りシート

※令和４年度以降入学生用

3学期	パッケージデザイン	【デザイン】 ・美術展覧会で企画した絵画作品をテーマにお菓子のパッケージデザインを考える。 ・箱型の展開図を利用し、商品の文字と絵画作品が効果的に組み合わされるよう構図を考える。 ・テーマに合わせ材料や用具を工夫して作成することができる。 【鑑賞】 ・自身が作ったものや他者の作品について理解し、良さを感じることができる。	a:（知識・技能） 美術作品についての知識から商品のブランディングを考え、文字の形（フォント）や色を構成することができる。 b:（発想や構想）パッケージデザインについて実際の箱型のデザインやお菓子のパッケージにどのような工夫がされているかを調べ、しくみについて考えることができる。 （鑑賞）他の生徒の作品などのよさや美しさ、作者の意図や表現の工夫などを感じ取り、一人ひとりの作品の違いを認識し理解しようとする。 c:商品パッケージのイメージづくりからデザインを何度も試行錯誤し主体性をもって取り組むことができたか、作品と振り返りシートを使って確認する。	ワークシート 作品 振り返りシート	ワークシート 取り組み状況 作品 振り返りシート	ワークシート 取り組み状況 作品 振り返りシート

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度